



〈本郷キャンパス〉
学校法人文京学院
文京学院大学外国語学部・経営学部・
人間学部・保健医療技術学部／大学院
／文京学院大学生涯学習センター
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3814-1661 生涯03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806
〈駒込キャンパス〉
文京学院大学女子高等学校
文京学院大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3
☎03-3946-5301

大学

「学位記授与式」举行

Graduation ceremony

寒さが残る3月に両キャンパスで、大学・大学院の「学位記授与式」が執り行われました。(写真提供：スタジオ・トナミ)



本郷キャンパスで行われた学位記授与式

3月15日、大学院外国語学研究科修了生2名、外国語学部卒業生220名、大学院経営学研究科修了生20名、経営学部卒業生203名の「学位記授与式」が、本郷キャンパス仁愛ホールにて執り行われました。

また、3月16日、大学院人間学研究科修了生15名、人間学部卒業生334名、大学院保健医療科学研究科修了生17名、大学院看護学研究科修了生3名、保健医療技術学部卒業生271名の「学位記授与式」が、ふじみ野キャンパスアトリウムにて執り行われました。

両キャンパスでは、福井勉学長が各総代に「学位記」を授与し、「学長賞」を贈呈。「仁愛賞」をはじめとする各賞表彰も行われました。

各研究科修了生、各学部卒業生代表からのメッセージを紹介します。(敬称略) ※氏名掲載に同意いただいた方のみ、ご紹介しています。



ふじみ野キャンパスで行われた学位記授与式

総代からのメッセージ

【外国語学部】 石山芽依
4年間で、入学前は想像もできなかった経験を積むことができました。支えてくれた友人、大学生活内外で手を差し伸べてくださった職員の方々へ感謝を忘れず、今後も成長し続ける努力をしていきます。

【大学院経営学研究科】 小林律貴
コンテンツ制作の実務を通し、先生方や職員の方々のお力添えのおかげで、代えがたい経験を得る事ができた大学院生活でした。学んだことを活かし、これから先も成長し続けるよう精進して参ります。

【経営学部】 高田智詞
飛躍的な成長を遂げ、大学生活の集大成を迎えました。本学での挑戦の積み重ねが自己の成長につながることを実感し、支えてくださった教職員の皆様への感謝を胸に、培った学びを礎として今後も精進して参ります。

【大学院人間学研究科】 請野菜緒子
興味のあること全てに挑戦できたのは、支えてくださった先生方や充実した研究設備、豊かな学びの機会のおかげです。仮説検証のために試行錯誤を重ねた経験は、自身の成長につながりました。感謝の気持ちを胸に一層精進して参ります。

【人間学部】 佐野町佳穂
大学生活では、多くの方々と交流し、新たな気づきを得ることができました。その中でも、自らの意見に対して助言をいただいたことは、貴重な経験になったと思います。これからも、目標に向かって学びを継続していきます。

【大学院保健医療科学研究科】 上田柊太
修士課程を経て、研究を順調に進めるため創意工夫を繰り返し、精度の高い研究課程を構築する大切さを学びました。責任感と行動力の向上に繋がったこの2年間の経験を糧に、今後も自己研鑽に励んでいきたいと思っています。

【大学院看護学研究科】 宮本洋美
患者さんは医療従事者の説明をどの程度理解しているのかが私の小さな疑問でした。大学院で小さな疑問を解決するノウハウを学びました。ここを出発点に、これからも研究を続けて、看護に人々の健康に貢献していきます。

【保健医療技術学部】 伊藤 環
同じ夢を持つ仲間と共に学び、励まし合いながら過ごした4年間は唯一無二の思い出であり、苦悩を共有しあえる友人と出会えたことは一生の宝です。今後も人との繋がりを大切に、社会に貢献し続けられる医療従事者を目指して参ります。

【GCI】 榊田知花
仲間と協力して様々な困難を乗り越えながら、1つの目標に向かって過ごしたかけがえない時間は、私を大きく成長させてくれました。この4年間で得た経験を糧に、卒業後も失敗を恐れず日々精進し続けて参ります。

卒業生マイステイトメント

※タイトルのみ。全文はホームページに掲載

本間盛己 (大学院外国語学研究科) 「経験」
榊田知花 (外国語学部) 「人との繋がりに感謝」
徳永莉子 (大学院経営学研究科) 「さらなる成長へ」
大河内真那 (経営学部) 「学びの先へ」
青木 淳 (大学院人間学研究科) 「"活"から"漂"へ ～心に遊びを～」
志塚ひかり (人間学部コミュニケーション社会学科) 「学びを社会へ」

関沼実夕 (人間学部児童発達学科) 「学びと決意」
上原美咲 (人間学部人間福祉学科) 「学び続ける」
上田柊太 (大学院保健医療科学研究科) 「昨日の自分を超越する努力」
宮本洋美 (大学院看護学研究科) 「臨床での小さな疑問を研究に」
小池萌愛 (保健医療技術学部) 「探究心を持ち続ける」
石山芽依 (GCI) 「行動と出会い」

総代・マイステイトメントの
メッセージ全文はこちらから



福井勉学長 式辞「卒業生へ贈る言葉」

皆様と共にこの日を迎えられることを、心より嬉しく思います。皆さんにとって、今日という日は大学・大学院生活の集大成であり、新たな人生の節目となる特別な日です。皆さんの努力と成長を讃え、祝福を申し上げます。

皆さんが本学に入学された1年生の時には、新型コロナウイルスの影響がありました。オンライン授業や制限の多い学生生活があったかと思います。当初思い描いていた大学生活とは異なるスタートだったかもしれません。しかし皆さんは、その制限を乗り越え、柔軟に適応し、いくつものハードルを越え、懸命に学業や課外活動あるいは生活にも取り組んでこられました。その努力が今日の卒業という成果につながったことに、心から敬意を表します。

また、大学院を修了された皆さんにおかれましては、深い探求心のもと、研究に取り組んでこられました。努力の積み重ねが、深い知の世界へと導き、今後の社会の発展に貢献する力を育んできたと思います。

それぞれが異なる道へと進んでいかれます。平穏な道ばかりではなく、坂道、不整地もきっとあると思います。しかし、どんな状況であっても、ご自身の進む方向を決め、自身で選択し、切り拓いていくのです。その経験を通じ、さらに新しい知識を身につけ、挑戦して欲しいと思います。

大学や大学院での生活は、知識を得る場だけではなく、試行錯誤を通じて自立し、他者と共に成長する場でもあったと思います。「自立と共生」の体現は、現在のように不確実性が高い環境下で、俯瞰の目で柔軟に対応し、新しい価値を創造していくための基礎だったのだと思います。その基盤が整ったゆえに卒業していくのです。自信を持ち、未知の世界に果敢に挑戦してください。

皆さんの人生が順風満帆でありますように。どんな時でもこの場所が、皆さんの心の故郷となることを忘れずにいてください。(式辞より抜粋)



式辞を述べる福井学長

各賞表彰者

※氏名掲載に同意いただいた方のみ、ご紹介しています。

〈本郷キャンパス〉

【総代・学長賞】石山芽依(外国語学部)、小林律貴(大学院経営学研究科)、高田智詞(経営学部)、榊田知花(GCI)
【仁愛賞】高橋守(大学院経営学研究科)
【最優秀論文賞(大学院経営学研究科)】西平眞彦
【優秀論文賞(大学院経営学研究科)】石川千佳、大熊啓介、荻野一泰、周参見和宏
【優秀論文・作品賞(外国語学部)】石山芽依、岩井くるみ、植田芽生、梅本久玲彩、神蘭叶夢、島田真由、中本由里子、西脇未紗、日向健太郎、福田真生、布瀬貴大、松原琴心、松本叶奈子、水落菜友美、森下颯太、山上樹莉亜、湯澤アリサ、横山瑞樹
【優秀論文・制作賞(経営学部)】尹 昕軼、片野竣介、杉本優芽、蕭 玉嬌、高橋祐貴、田村汐月、丹治紅葉、淵田さくら、向井 幹、龍 智宇
【GCI優秀賞】大河内真那(経営学部)

〈ふじみ野キャンパス〉

【総代・学長賞】請野菜緒子(大学院人間学研究科)、佐野町佳穂(人間学部)、上田柊太(大学院保健医療科学研究科)、宮本洋美(大学院看護学研究科)、伊藤 環(保健医療技術学部)
【仁愛賞】小林佳美(大学院保健医療科学研究科)、横田未翔(保健医療技術学部)
【最優秀修士論文賞(大学院人間学研究科)】請野菜緒子
【全国保育士養成協議会表彰】樋口晴香(人間学部児童発達学科)
【全埼玉私立幼稚園連合会表彰】佐藤花梨(同)
【日本ソーシャルワーク教育学校連盟(社会福祉士)表彰】小林未歩(人間学部人間福祉学科)
【日本ソーシャルワーク教育学校連盟(精神保健福祉士)表彰】重こころ(同)
【日本介護福祉士養成施設協会表彰】白石夏泉(同)
【みよし会賞(保健医療技術学部)】牧野朝実(理学療法学科)、三宮也実(作業療法学科)、熊谷明香里(臨床検査学科)、出羽理桜(看護学科)
【GCI優秀賞】小林未歩(人間学部)、鈴木麻史(保健医療技術学部)

中高

「卒業証書授与式」

「高校式辞」「多様性を 楽しむための力」

グローバル化がますます拡大されていく中、世界各地で様々な違いから多くの対立や衝突が生じています。本校生徒の目指す姿「文京生宣言」に「多様性を楽しむ」とあります。自分と違う国、民族、政治、経済、文化、生活、そして考え方、価値観など世界の多様性をどうやって受け入れていき、理解して、さらには楽しむまでのレベルになれるのか。

そのために必要な力は「ホスピタリティ」だと私は考えます。何事もすべて相手の立場で考え、自分のことと捉えて対応していく力。相手の表情や感情を推測しながら、その場その場での適切な対応や解決策を導き出していく力のことです。協力して働くと言って「協働」。関わる人が増えれば増えるほど、この協働には苦労や困難が生まれます。ただ、この苦労や困難を避けることなく、それすらも楽しんで乗り越えていく。多くの人と柔軟に関わること。それが「ホスピタリティ」です。



中学校・高等学校校長
清水直樹

「中学式辞」「学び続ける人に」

これまでも、これから、学校で学べということに感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。さまざまな違いが生み出してしまふ戦争や紛争の中で、多くの子どもたちの学ぶ機会が失われています。これまで小学校、中学校で学ぶことができたこと、そしてこれから高等学校で学ぶことができるということ。日本という国で暮らしていると当たり前のこともかもしれません。しかし、これは決して当たり前ではなく、とても贅沢でとても幸せなことです。どうかそのことに心から感謝して、この先も常に学び続ける人であってください。

高校卒業式



総代・各賞表彰者

総代：石井はるか(藤)
3年間皆勤賞代表：鈴木こころ(桜) 全29名
3年間精勤賞代表：田嶋桃果(樟) 全20名
東京都知事賞：塩谷絢音(梅)
日本私立中高連合会賞：杉谷紗永(杉)

東京都私学財団奨励賞：肥田木もも(楓)
東京都私学財団文化・スポーツ活動賞：市川遥菜(杉)
東京都体育協会賞：辻本美結(杉)
褒賞：中西美釉(萩)

中学卒業式



総代・各賞表彰者

総代：桂嶋もえ(桃)
3年間皆勤賞代表：和田芽奈(菊) 全6名
3年間精勤賞代表：榎本明莉(栗) 全13名

日本私立中学高等学校連合会賞：小出春佳(桃)
体育優良生徒：溝口 薫(菊)
褒賞：高井莉瑚(栗)

春の訪れを感じる陽差しの中、高校は3月8日、中学は3月20日に、本郷キャンパス仁愛ホールにて「卒業証書授与式」が執り行われました。清水直樹中学校・高等学校校長より、卒業生一人ひとりに卒業証書が授与され、各賞表彰も行われました。(写真提供：スタジオ・トナミ)

「送辞」 在校生代表 第75期生徒会会長(2年藤組) 岩崎文音

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心からお祝い申し上げます。これまで、私たちは皆さんからたくさんのことを学びました。皆さんが仲間と共に一生懸命頑張る姿を見て、私たちも刺激を受け、成長することができました。在校生一同、これから新しい場所ですさらに大きく羽ばたいていく皆さんを応援しています。どんな困難があっても、皆さんならきっと乗り越えられると信じています。これからの未来が素晴らしいものでありますように、心から願っています。



「謝辞」 卒業生保護者代表 鈴木佳代様

これまで支えてくださった皆様により感謝申し上げます。特に、先生方には学業だけでなく、人生における大切なことを教えていただき、深く感謝しています。生徒たちが様々な困難を乗り越えて成長できたのは、先生方をはじめとした皆様の温かい支えがあったからこそです。引き続き温かく見守っていただけますと幸いです。卒業生の未来が希望に満ちたものとなるよう、いつも応援しています。3年間、本当にありがとうございました。



「感謝の言葉」 卒業生代表 第74期生徒会会長(3年萩組) 中西美釉

新たな学校生活に期待と不安をいっぱいにしていた3年前の4月から時間は流れるように過ぎ、こうして私たちは卒業を迎えることができました。コロナ禍を経験した私たちは、友達と過ごせることがどれほど貴重なことを知っているからこそ、たわいもない会話をして過ごせる毎日が大切な思い出となりました。いつも私たちのそばで見守ってくださった先生方、楽しい思い出と一緒に作ってくれた友達、本当にありがとうございました。文京学院での様々な経験と思い出を胸に、それぞれの場所で輝き続けていきます。そして、いつか母校に恩返しできるよう、夢の実現に向けて精一杯努力し続けます。



「贈る言葉」 高校3学年代表 水上 茂教諭

卒業生、保護者の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。3年前、コロナ禍の出口から始まった高校生活でしたが、何事にも本当によく頑張りました。これから皆さんが進む人生も、順風満帆の日々ばかりでは無く、人生の岐路に立つ時が来ます。その時は、勇気をもって自ら選び、その道を歩んで欲しいと思います。道の先に、どのような結末が待っているかは誰にもわかりません。人生の岐路に迷う時には、目で見えるのではなく、心に問いかけてください。本当に大切なものは日々の日常の中にあり、必ずそこに正しい答えがあるはずですよ。前途洋々たる未来を心より祈念します。



「送辞」 在校生代表 第44期生徒会会長(2年栗組) 外山晴美

中学3年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。学校行事を明るく楽しく盛り上げて下さった先輩方、勉学に励み素晴らしい結果を残した先輩方、部活動に全力で取り組まれた先輩方、文京学院生として模範の姿勢を学ばせていただきました。今度は私たちが後輩の見本となり、多方面において学校を盛り上げていけるよう、精一杯頑張っていきます。高校生活ではより一層輝き、ご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。



「謝辞」 卒業生保護者代表 奥村秀範様

卒業生の皆様、3年間の通学、勉学等大変お疲れ様でした。また保護者の皆様、親の義務である義務教育の完遂、大変お疲れ様でした。新年度に向けて多忙な日々が続きますが、ひとときやり遂げた充実感を娘さんと一緒にたのめうのも良いかと思えます。教職員の皆様にとり、指導にあたり、我々には見えないご苦労が多々あったかと存じます。ご自愛いただき、次年度更にご活躍されることをお祈り申し上げます。ありがとうございました。



「感謝の言葉」 卒業生代表 第43期生徒会会長(3年栗組) 高井莉瑚

この中学校3年間を通して沢山のひとと出会いました。入学したばかりの頃、新しい環境に緊張していた私にわからないことなどを優しく教えてくれたクラスメイトのことを今でも忘れることなく覚えています。とても励みになり嬉しかったです。また、先生方にはお世話になりました。悩みごとがあったときや困っている私に、親身になって支えてくれました。友達、先生方、中学校生活3年間ありがとうございました。4月からの高校生活も目標を高く持ち、全力で取り組みます。



「贈る言葉」 中学3学年代表 三戸佳澄教諭

コロナ禍を経てAIの進化が止まりません。人間のすることの多くを肩代わりしてくれるAIが出現している今だからこそ、あなたの人間性が重要なのです。一番心配なのは、あなたの脳みそを乗っ取られてしまうこと。AIに何を聞いても、調べても大抵のことは答えてくれます。でも、その土台になっているデータは、長い歴史を持つ人類の「英知」であることは忘れてはいけません。高校で更に深く学んで、学び続けて、AIに対抗できる脳みそを育てましょう。ご卒業おめでとうございます。



幼稚園

「修了証書授与式」

「贈る言葉」 ふじみ野幼稚園園長 柄田 毅

ふじみ野幼稚園でのまなびと体験をもとに、この春に新しいチャレンジに向かうみなさん、誠におめでとうございます。みなさんが毎日通った幼稚園には、たくさんの方の気づきや発見、行ってみたくなる場所、やってみようと思う遊び方などがいくつもありません。毎日の中で、みなさんが、「なんだろう」「やってみよう」「どうするのか」と考えて、友だちや先生たちと一緒に試したり、相談したり、ときには、うまくいかなかったりちょっとイヤになったりしたこともあったと思います。こうしたまなびと体験の連続から、「できた!」「そうだったんだ」「やったね」「次はこれだよ」「それじゃ、こうしようよ」「ほら、うまくいったね」など、やってみようと思ったことをタネにして、考え、行動し、話し合い、探求して、一人一人のユニークな花や実として表すことができました。自分で見つけるタネは多彩な形、大きさ、重さ、色などがありました。そのタネが個性的な花や実となる過程にはみんなが一緒にいて、それらのタネや育つプロセス、そして花や実の良いところを認め合ってきました。この幼稚園で育ち合い、つながり合いを深めた友だちは、これからも一人一人を応援してくれる仲間です。今までのように一緒にではなくても、応援する気持ちは、いつもみなさんのそばにあります。もちろん、ふじみ野幼稚園は、これからのみなさんのチャレンジをいつまでも応援しています。



ふじみ野幼稚園は3月15日、文京幼稚園は3月20日に各ホールで「修了証書授与式」が執り行われました。各幼稚園にて、園長先生から修了児一人ひとりに修了証書が授与され、立派に成長した姿を披露しました。(写真提供：スタジオ・トナミ)

「贈る言葉」 文京幼稚園園長 益田 薫子

幼稚園修了おめでとう。文京幼稚園では、先生やお友達と毎日たくさん遊んで、心も体も大きく成長しましたね。皆さんは幼稚園生活の中で、人の気持ちを考えるという大切なことを学びました。困っているお友達がいたら手伝い、優しく声を掛けて助け合う素直な年長さんでした。

今後も、遊ぶ時は好きなことに夢中になって思い切り楽しむ。みんなで一つのことをするときには人と気持ちを合わせて一生懸命取り組む。両方共、大切です。小学校でも楽しく色々なことに挑戦していきましょう。

保護者の皆様へ。学童期は「手を離して、目を離すな」とよく言われています。心配になることもあると思いますが、我が子の手を離し、自分で考え自分で行動できるように、目は離さずそっと背中を押してあげるとよいと思います。そして、頑張ったことは必ず認め、声に出して褒めてあげてください。両親はいつでも我が子にとって最高の応援団長であってほしいと思います。3年間、誠にありがとうございました。



文京幼稚園「第70回 修了証書授与式」

中高

「富士賞授与式」

創立者島田依史子先生の意思を受け継ぎ、校訓である「誠実・勤勉・仁愛」の精神を体現するような人柄で、中学・高校全校生徒の模範となる生徒を表彰する「富士賞」。今年度は、2月14日に駒込キャンパスジャシーホールにて「第60回富士賞授与式」が執り行われ、勉学・部活動・生徒会・ペン習字など地道な努力を継続し、成果を収めた生徒・保護者・教員などが表彰されました。受賞者を以下にご紹介します。（対象は3年生、敬称略）
（写真提供：スタジオ・トナミ）

【総合部門】 「人として豊かな心を持ち、周囲からの人望も厚く、本校の校訓である誠実・勤勉・仁愛の精神を体現した生徒」

中 学 溝口 薫(菊)、吉井菜々美(菊)、桂嶋もえ(桃)、黒崎千鶴(桃)、佐々裕心奈(桃)、渡邊陽愛(桃)、関根瑠美(栗)
高 校 有村世菜(楓)、飯澤清子(楓)、赤坂美音(檜)、田嶋桃果(檜)、佐野友葉(桜)、高橋由晏(桜)、石井はるか(藤)、厚海優香(梅)、岡本美優(梅)、塩谷絢音(梅)、関根歌恵(萩)、中西美釉(萩)、杉浦めい(杉)、武田汐莉(杉)



総合部門受賞の中学生



総合部門受賞の高校生



表彰される生徒



講話を行う島田昌和学院長・理事長

【課外活動部門 個人】 「課外活動において、その活動が顕著であった生徒」

高 校 佐々木璃乃(梅)、寺部結季(杉)

【課外活動部門 団体】 「活動が盛んで、成果を上げた部活動、委員会などの団体」

中学バレーボール部、中学サッカー部、中学ソフトテニス部、中学硬式テニス部、中学新体操部、高校バレーボール部、高校サッカー部、高校ソフトテニス部、高校ソフトボール部、高校新体操部、高校カラーガード部、高校チアダンス部、高校吹奏楽部、高校図書委員会、高校生徒会、高校文京BG-CAST、高校タイ科学交流プログラム

【ペン習字精励賞】（対象は全学年）
600枚提出者（中学・高校合計372名）

中学代表＝黒江ひびき（3栗）
高校代表＝齋藤聖奈（3萩）

【ペン習字精励賞特別表彰者】（敬称略）

保護者・家族：桑原頼子、清水泰子、中西みどり、西澤光代、松本直美
教員：熊田真紀、岩倉寛樹、駒村勇太郎

【清書テスト優秀者】（対象は全学年）

中学代表＝和田芽奈（3菊）

[中1] ■菊組：岡田綾乃、岡野叶蓮、関谷百可 ■桃組：加藤紗奈、佐野倭夏、澤原衣陸 ■栗組：桑田紗和、細井惺香、渡邊莉陽菜

[中2] ■菊組：鈴木美咲、中原紗那、横溝仁美 ■桃組：杉本千紘、新島心結、濱野夏菜 ■栗組：阿久澤美宙、栗野志帆、坂下結希乃

[中3] ■菊組：和田芽奈 ■桃組：柴田唯花、高橋芽生、渡邊陽愛 ■栗組：黒江ひびき、白濱成羽、渡邊結衣

高校代表＝前嶋 花（3檜）

[高1] ■楓組：久保叶夢、志村 真 ■檜組：田中 凪 ■櫻組：小堀華蓮、櫻井由菜 ■藤組：島田 桜 ■梅組：石井たまき、遅澤菜埜、中西朱音、村山小夜、横尾心海 ■萩組：倉持和乃佳、梶 ひなの、中西梨穂

[高2] ■楓組：市古暖乃、正村杏里 ■檜組：糸川美月、木島歩矩 ■桜組：小川侑芽、兼子智世、金田志穂 ■藤組：岩崎文音、岩瀬奏美、大柳美結、片山心晴、齊藤好香 ■梅組：大矢由紀、橋本心花 ■萩組：小笠原夏都、下川瑠菜、生天目美貴 ■杉組：天沼ひなた

[高3] ■楓組：石塚はる、肥田木もも ■檜組：田嶋桃果、前嶋 花 ■桜組：佐野ひなね ■藤組：宮川紗良 ■梅組：藤本結真 ■萩組：齋藤聖奈、中西美釉 ■杉組：杉谷紗永

中学

「英語暗唱コンテスト」開催

2月14日、駒込キャンパスジャシーホールにて「第63回英語暗唱コンテスト」が行われました。溝口薫さん(3菊)、高橋芽生さん(3桃)、細井さくのさん(3栗)の司会で進行し、予選を勝ち抜いた24名(各学年8名)が英語暗唱力を競いました。厳しい審査の結果、次の生徒が入賞しました。(敬称略)

【第1位】 1年 ウィリアム アストリッド イザベス(菊) 2年 劉 紗愛(桃) 3年 後藤 理子(桃)

【第2位】 1年 永橋 藤乃(菊) 2年 西川 粋禾(栗) 3年 小出 春佳(桃)

【第3位】 1年 金村 柚希(栗) 2年 湯 逸那(栗) 3年 望月 綾乃(栗)

【国友賞(最優秀賞)】 3年 後藤 理子(桃)



国友賞の後藤さん▶

BOOK INTRODUCTION 書籍紹介

『「共生」の思想を探究する』

外国語学部の高橋舞准教授が解題した書籍が刊行されました。(以下、Amazonより引用) 在野の哲学者であり、社会運動家として民衆と共にあり続けた著者が、自らの思想と実践を振り返る。安里清信、鶴見良行、森崎和江、石牟礼道子、遠山サキフチら、敬愛してやまない人々へ寄せた文章を再録。「共生」の思想の今日的意義を問う。解題として「生きられる場への道先案内人」高橋舞(教育哲学)を収載。

(執筆)※敬称略 筆者：花崎皋平、解題：高橋舞(外国語学部准教授) ココ出版(2025年2月)／2,640円(税込)



高校

私立高等学校男女バレーボール選手権大会東京大会「準優勝」全国大会「第3位」

2024年12月15日～2025年1月26日の期間、「第30回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会予選 兼 第33回東京私立高等学校男女バレーボール選手権大会」が都内各会場で開催されました。高校バレーボール部は、シード校として第4回戦より試合に出場し、「準優勝」となりました。昨年11月の春高バレー予選を終えて3年生が引退し、今回は1・2年生のみの新チームで臨む最初の大会でした。ライバル校よりも早く新チームがスタートしているため、優勝して今後の大会に弾みをつけたかったところですが、課題も残る大会となりました。

また、3月25日から開催された「第30回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会(さくらバレー)」では「第3位」となり、女子の部では本校が唯一の30年連続出場(皆勤)として表彰されました。これから新人戦、春の関東大会、そしてインターハイ予選に向けて、気を引き締めて臨んでいきます。

